

コロナ禍における各国・地域の動向について (4月)

4月2日現在

3月末の世界の新型コロナ新規感染者数は、2月中旬比で一日平均約5割増加。世界で「第4波」への懸念が高まる。

ブラジルをはじめとする中南米、独・仏・伊や中東欧、インドでは変異ウイルス感染者が増加。一方で、ワクチン接種率の高い英国、米国では、経済活動や行動制限などの規制緩和が進む。

日本とEUは脱炭素で包括的な協力を進める枠組みを創設する。アジアなどの途上国への再生可能エネルギーの導入支援や新技術の開発などで連携する予定。

欧州委員会は、域内で製造した新型コロナワクチンの輸出規制強化策を3月24日に発表。

EU首脳会議が3月25日に開催され、域内の自由な移動を認めるデジタル版ワクチン証明書の発行に向けて具体的な作業を加速することで一致。

欧州では、温暖化ガス排出量取引の価格が、2020年末より約3割高い水準で推移。

日本・米国・オーストラリア・インドは3月12日、4か国首脳協議を開催。感染収束の為に協働することに加え、ワクチン専門家作業部会、気候作業部会、重要・新興技術作業部会の設置を決定した。

世界の新型コロナワクチン 累計接種回数

上位国と日本 (カッコ内は100人あたりの接種回数)

1	米国	150,214,407 (45.3)
2	中国	119,821,000 (8.6)
3	インド	65,117,896 (4.8)
4	英国	35,979,226 (53.5)
5	ブラジル	19,155,981 (9.1)
6	トルコ	15,834,787 (19)
7	ドイツ	13,770,473 (16.6)
8	インドネシア	11,674,871 (4.3)
9	ロシア	11,373,572 (7.9)
10	フランス	10,714,250 (16)
38	日本	1,050,112 (0.8)

【米国】日米安全保障協議委員会(2+2)のため来日したブリンケン国務長官は3月16日、三村会頭はじめ日本の財界人と意見交換を行った。

東京五輪・パラリンピックへの海外からの一般観客の受け入れ見送りを3月20日に正式決定。

菅首相は3月26日、バイデン米大統領の招待を示唆。

河野規制改革担当大臣は3月15日、海外渡航などで必要な場合に新型コロナのワクチン接種証明書の発行を検討する方針を示した。

政府は4月1日、飲食店の営業時間の短縮を主な対応とする「まん延防止等重点措置」を4月5日から1か月間、大阪府、兵庫県、宮城県に適用することを決定。

今月のトピックス

欧州

アジア・大洋州